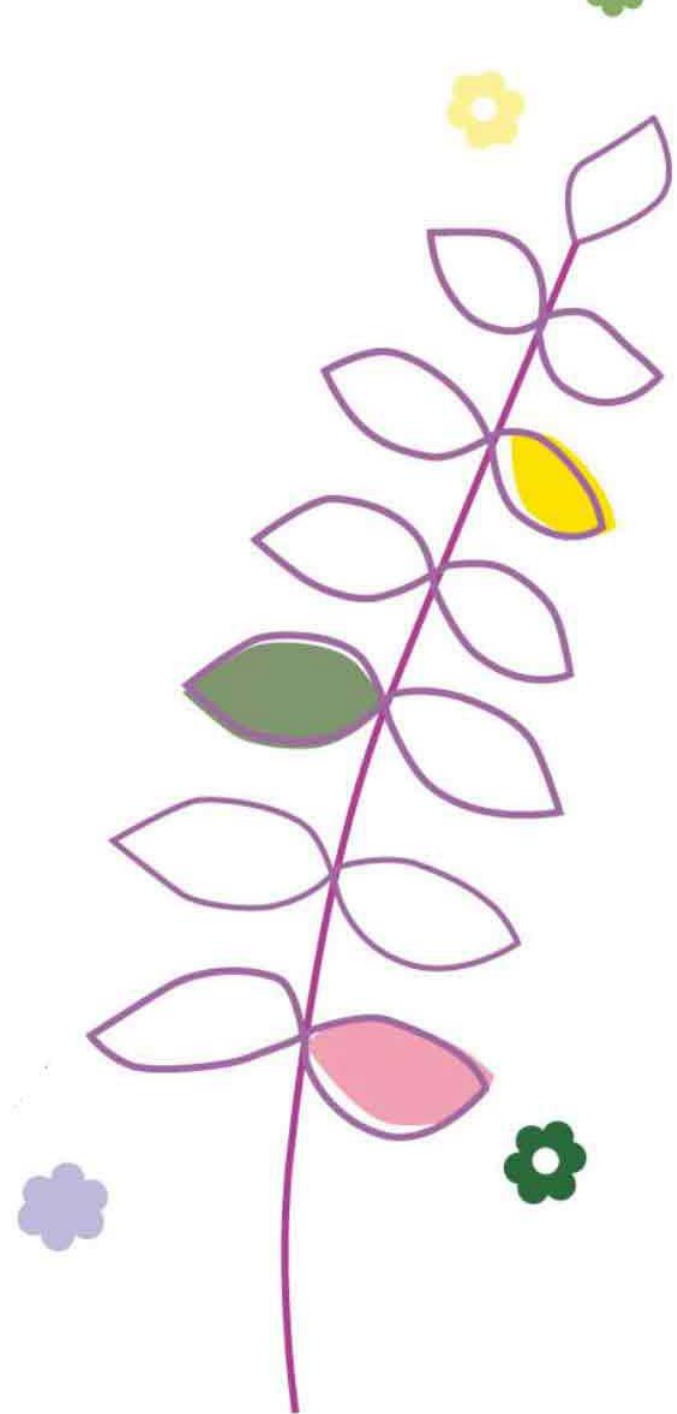
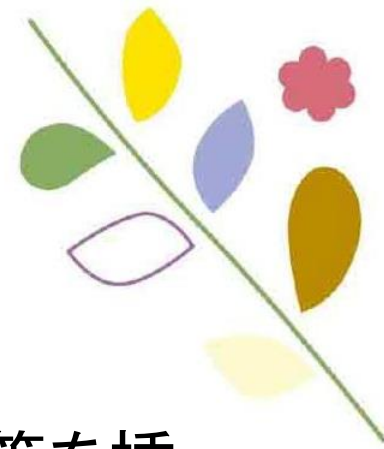


# 血管撮影 ( Angiography )



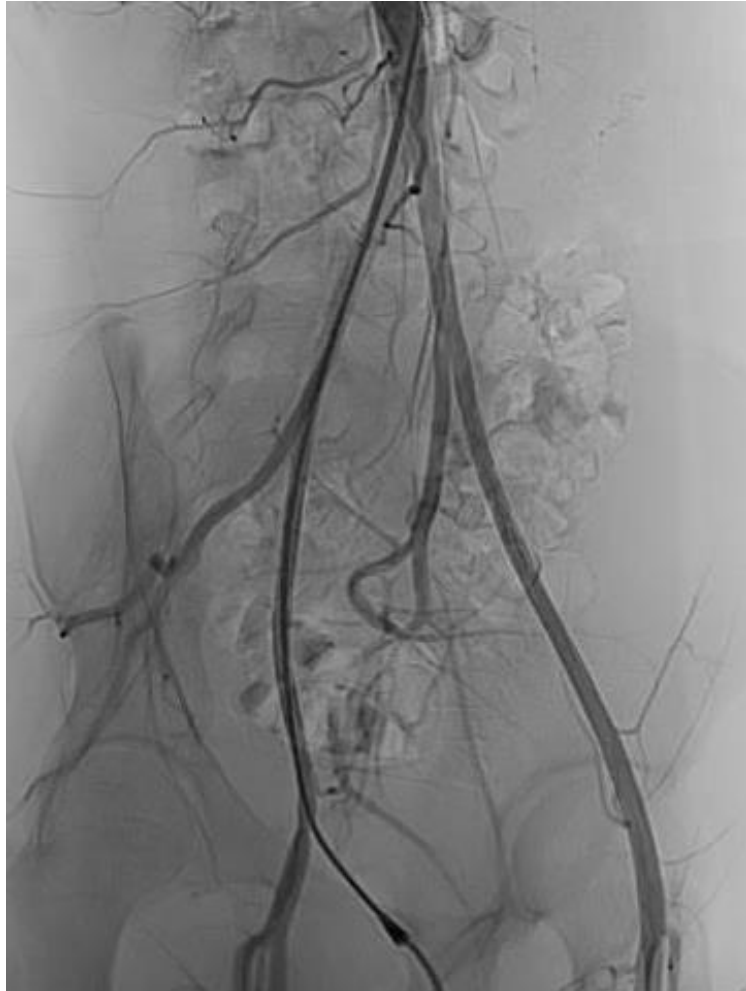


# 血管撮影とは

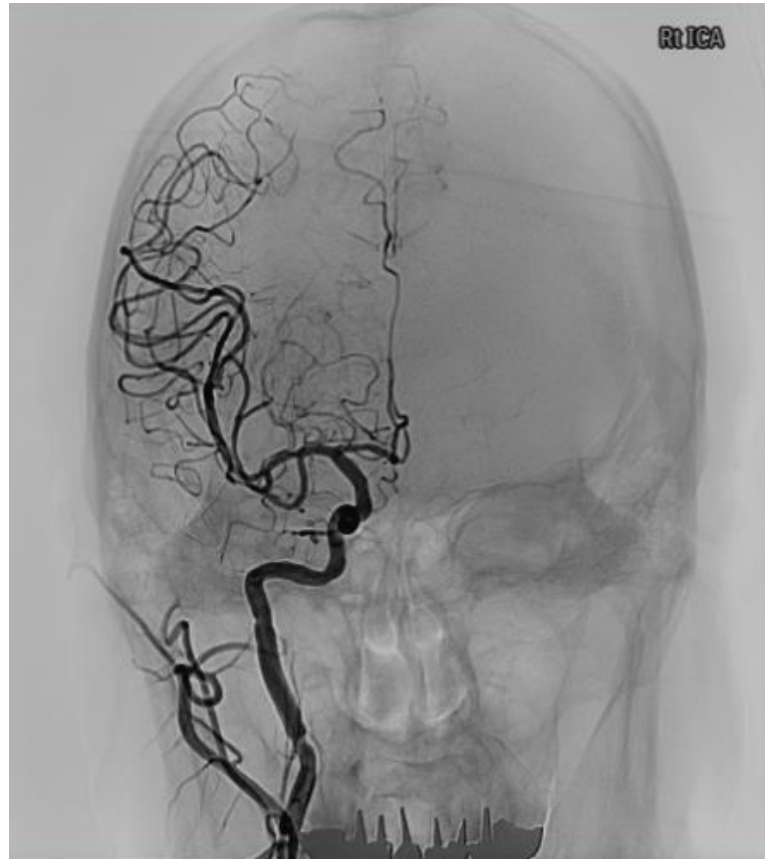
足の付け根（鼠径）・肘・手首の血管からカテーテルと呼ばれる細い管を挿入し、目的の血管に造影剤を注入しながらX線により連続撮影することで血管の形態や臓器を描出する検査です。

血管の状態（狭窄や閉塞、瘤など）や臓器の疾患（腫瘍、出血など）の診断を行うほか、当院では血管内治療（IVR：Interventional Radiology）も行っています。

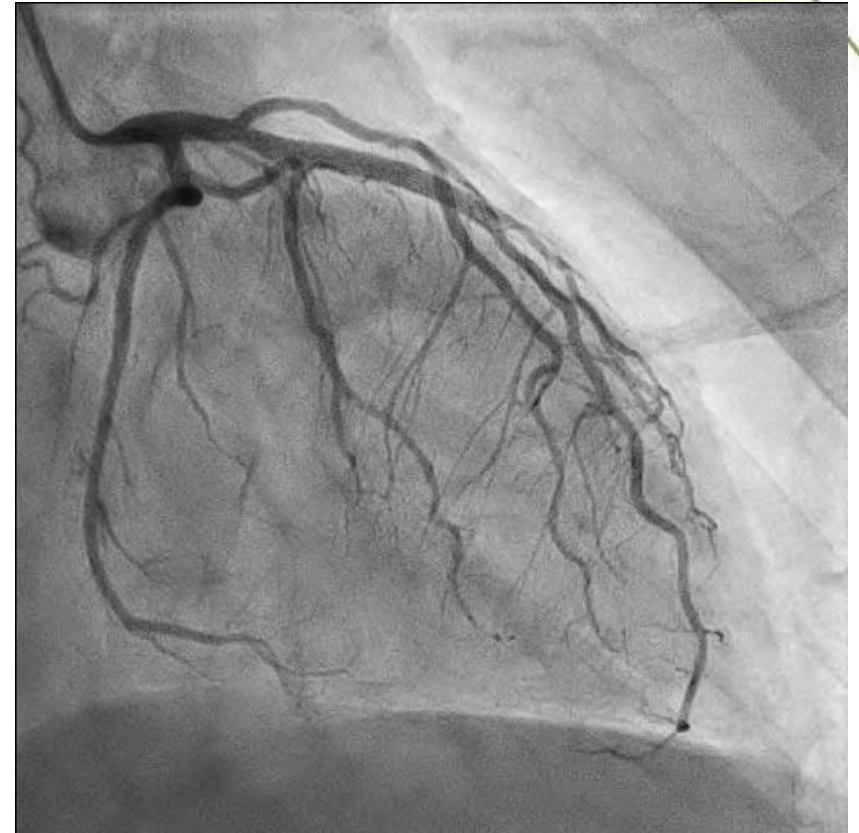




カテーテル挿入部  
(鼠径)造影



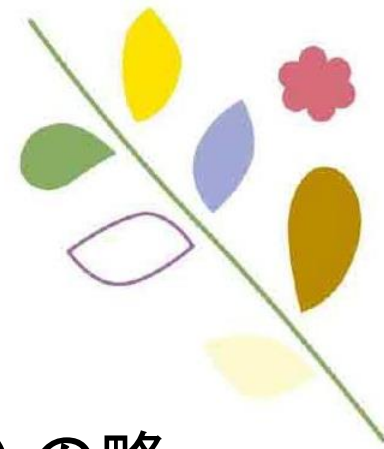
脳血管造影



冠動脈造影



# IVRについて



IVRはインターベンショナル・ラジオロジー（Interventional Radiology）の略で、X線透視・超音波・CTなどの各種の画像診断技術を利用し、体内に細い管（カテーテル）を入れたり、針を刺したりして行う治療です。

カテーテルを血管内に挿入する際には、皮膚への小さな切開で済むため、外科的手術のように皮膚を大きく切開する場合に比べて、身体への負担も少なく済ませることができます。


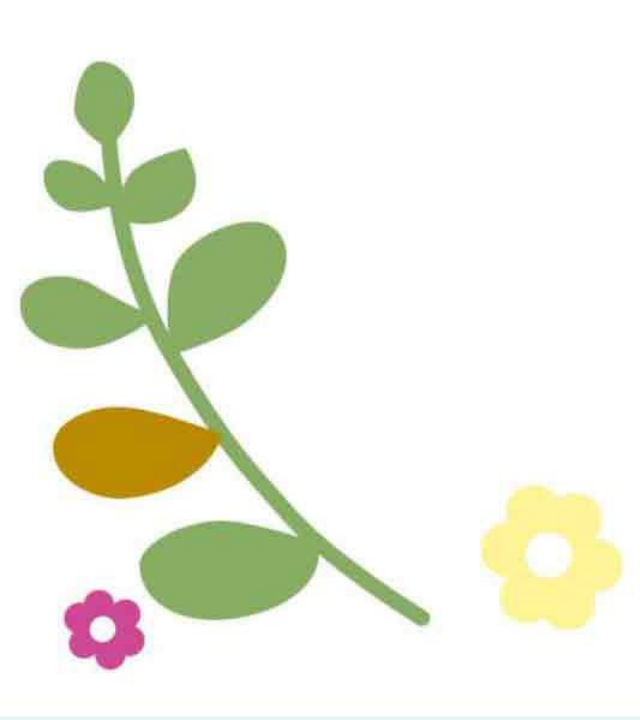



# 当院で使用している装置



FPD搭載バイプレーン型  
血管撮影装置が3台あります

- PHILIPS Azurion7 B20/15
- PHILIPS Azurion7 B12/12
- PHILIPS Allura Clarity FD10/10



# 各専門領域の 検査および治療

# 頭頸部領域



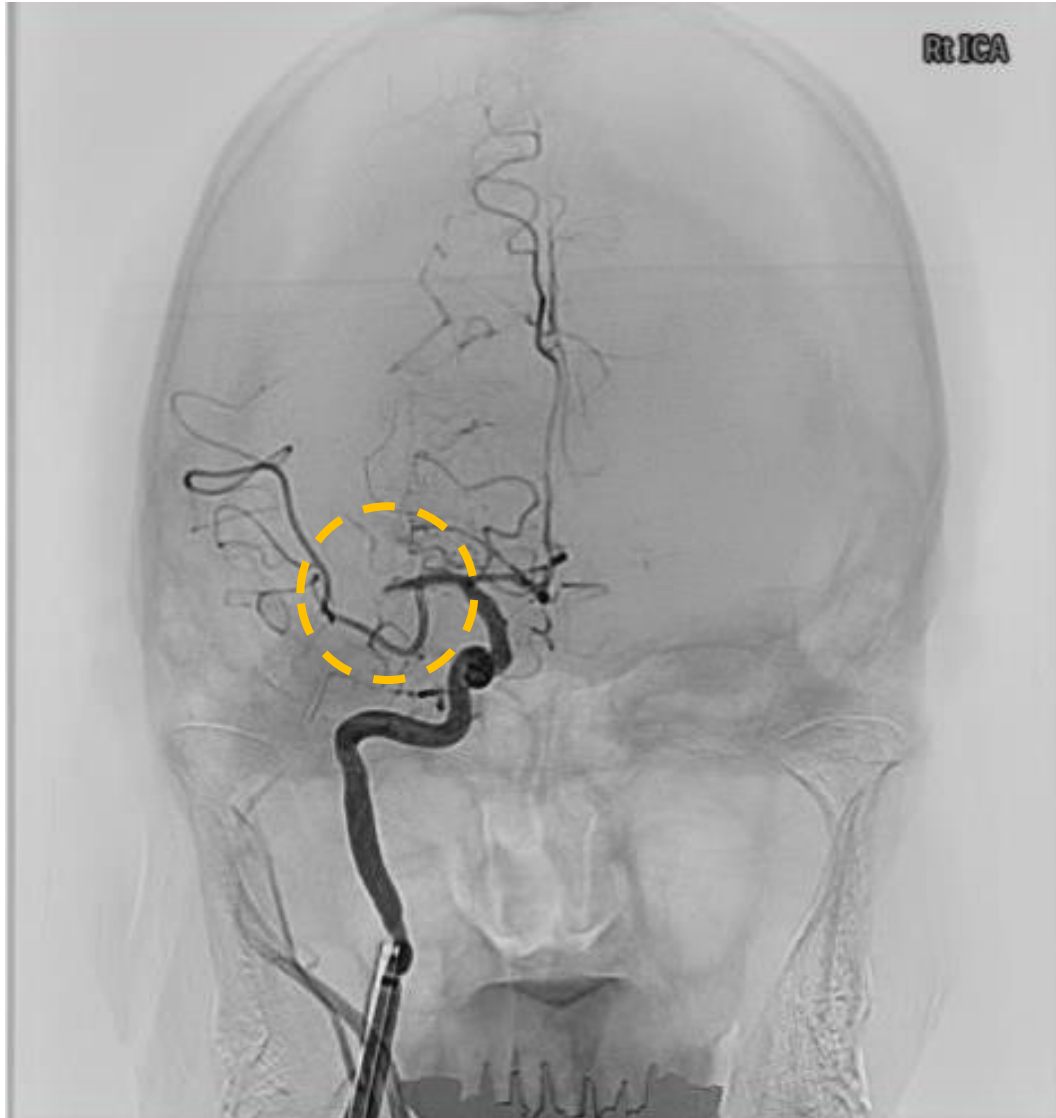
脳動脈瘤、脳血管および脊髄動脈における脳動静脈奇形、もやもや病などの診断が施行されています。

また、脳動脈瘤コイル塞栓術、頸動脈狭窄に対するステント留置術、脳腫瘍に対する開頭術前の腫瘍塞栓術、急性期脳梗塞に対する血栓回収術・血栓溶解術などの血管内治療も行われています。

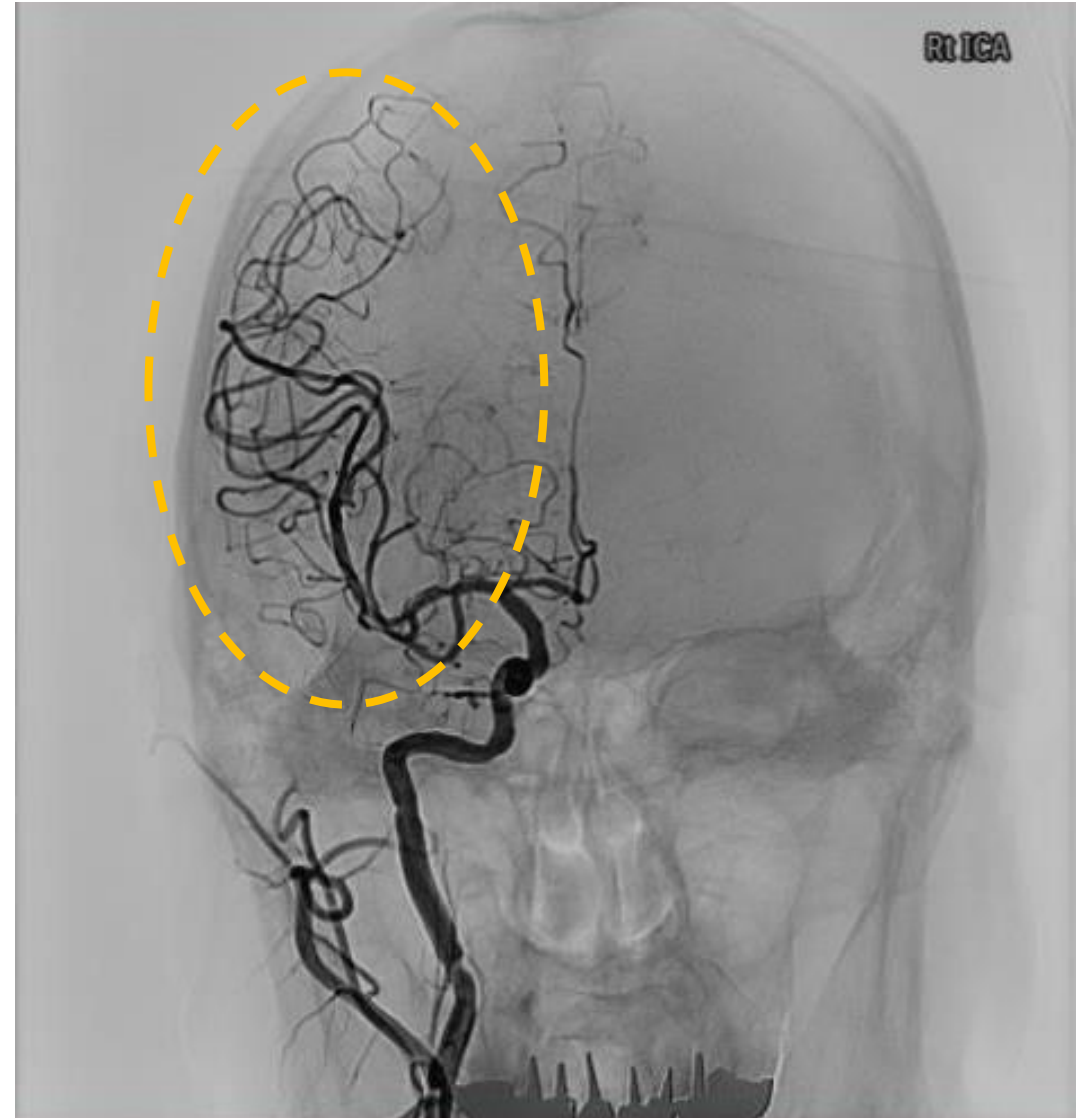




# 急性期脳梗塞に対する血栓回収術



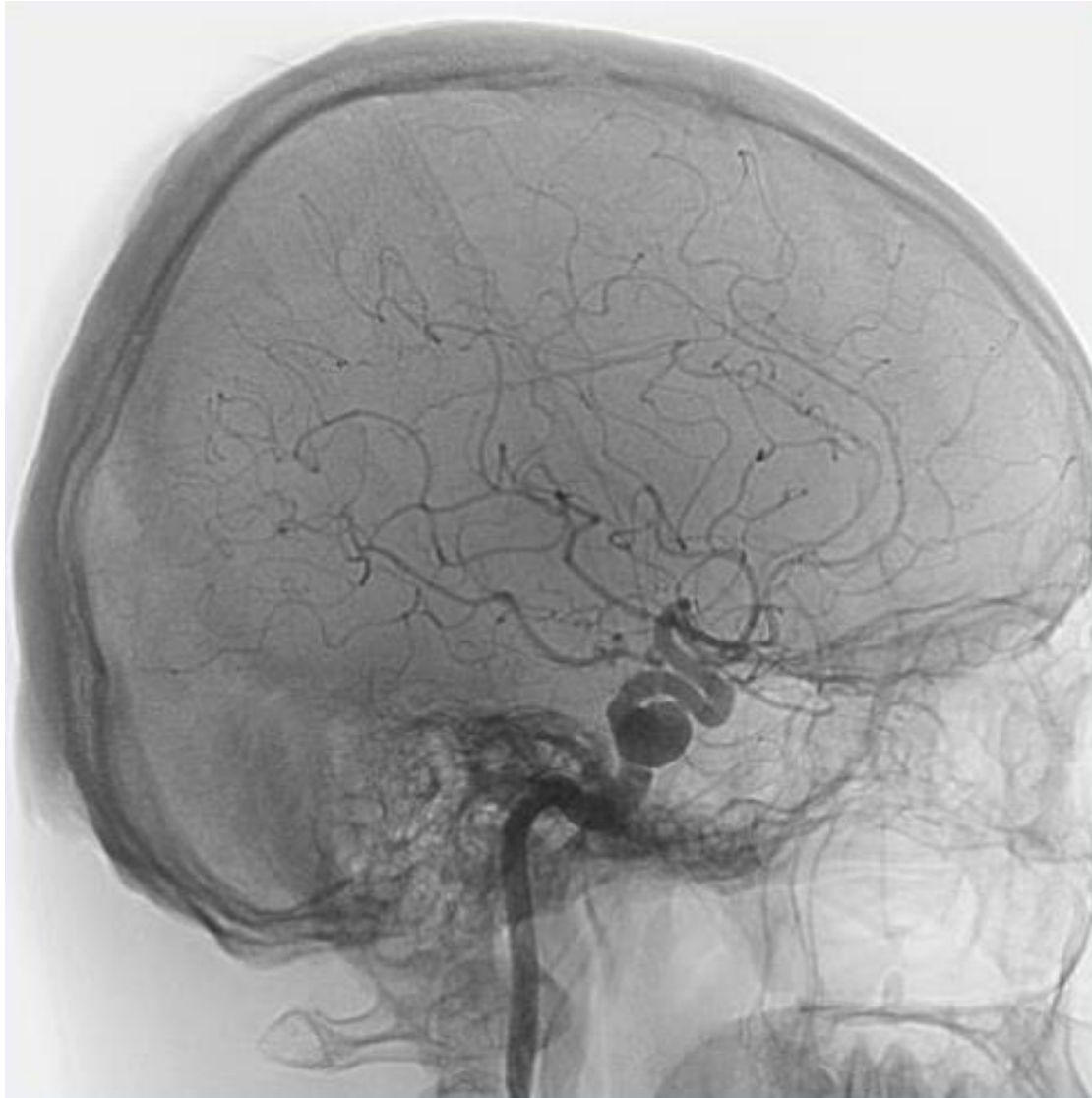
血栓回収前



血栓回収後



# 脳動脈瘤の3DRA撮影



3DRA撮影



VR画像

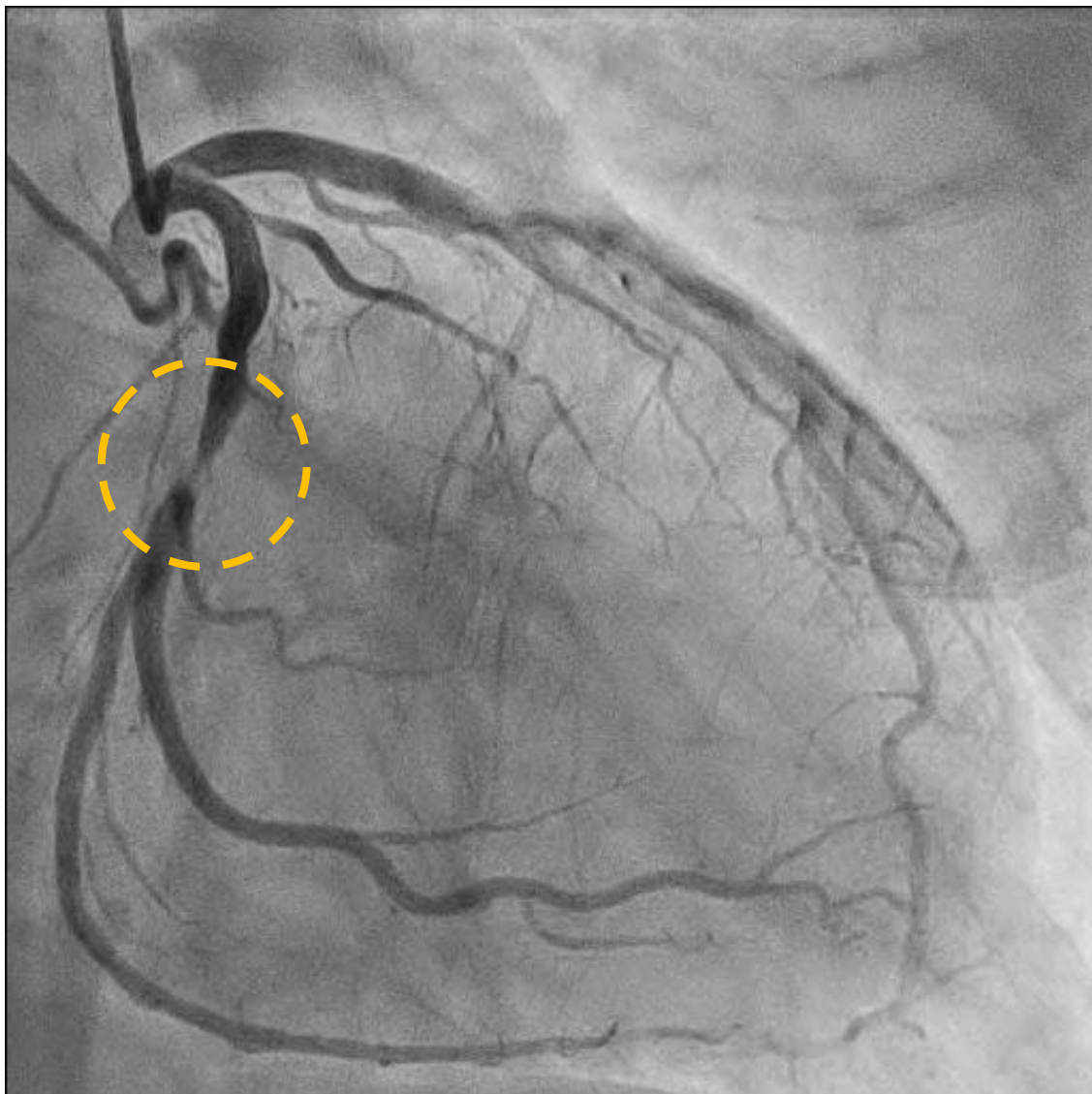
# 心臓領域



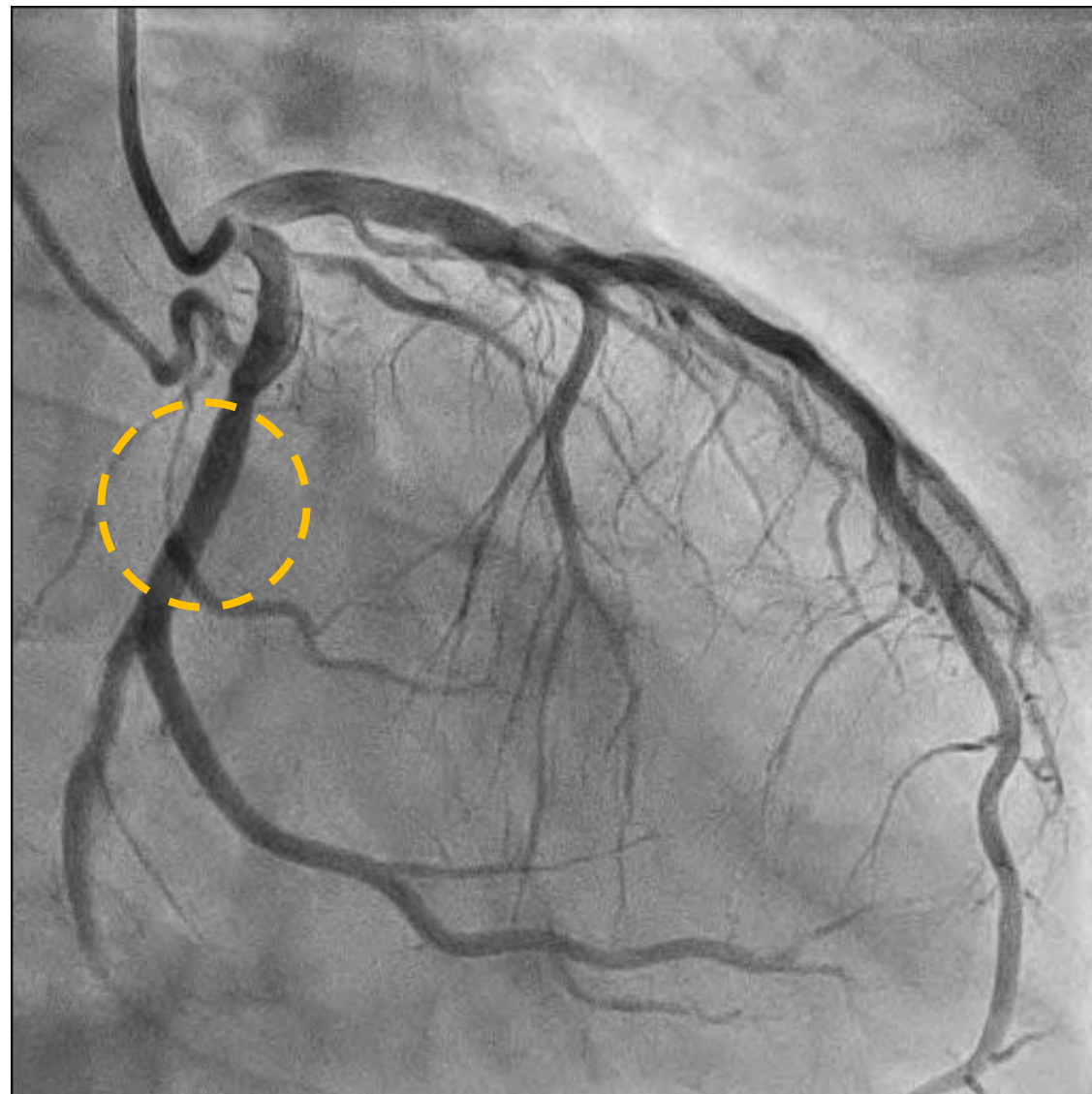
狭心症や心筋梗塞の検査および治療、末梢動脈性疾患（閉塞性動脈硬化症）に対する治療、不整脈に対するペースメーカー・ICD・CRT植込みおよびアブレーション治療などが施行されています。

また、重篤な心肺機能不全の患者に対して、大動脈バルーンパンピング（IABP）、経皮的心肺補助装置（PCPS）、インペラ（IMPELLA：補助循環用ポンプカテーテル）などの補助循環装置の挿入も血管撮影室で行っています。

# 狭窄した冠動脈に対するステント留置

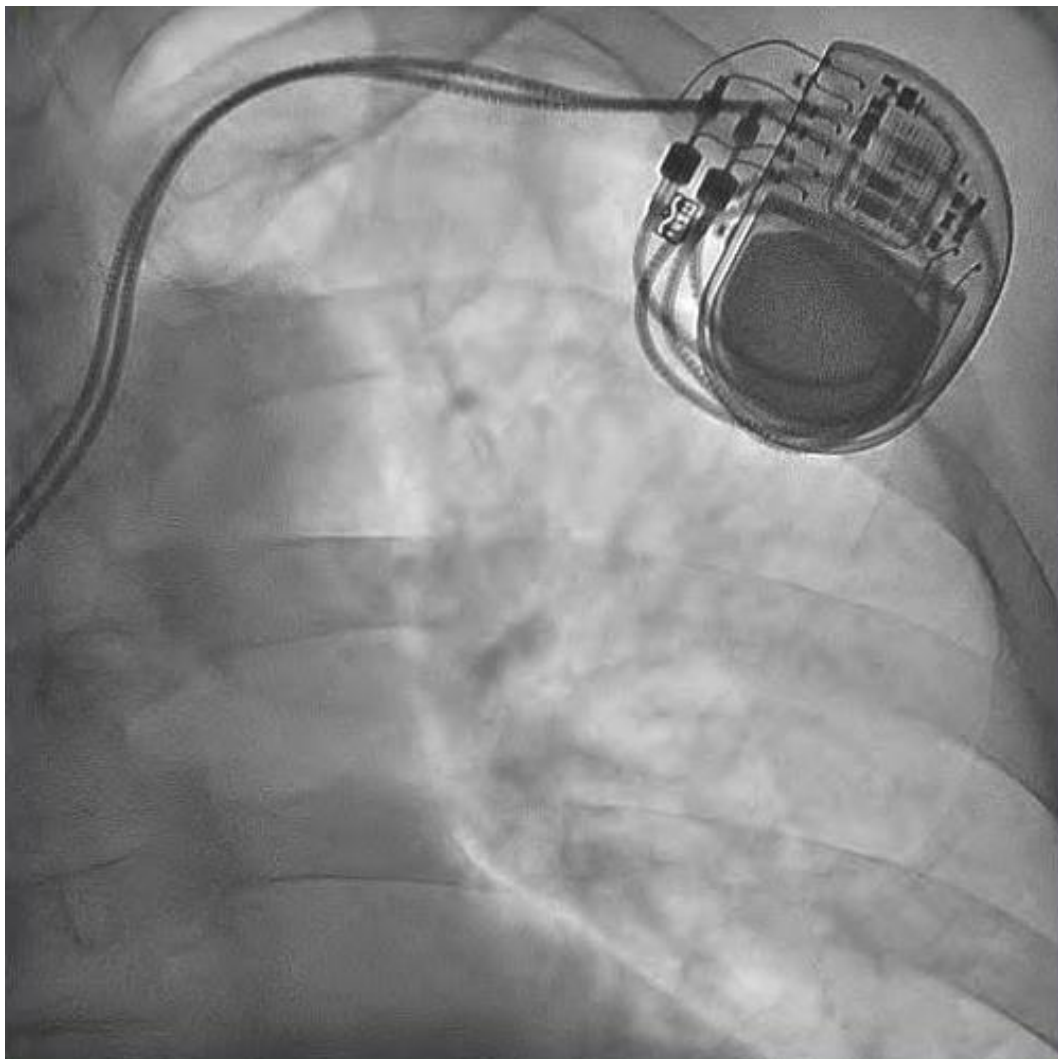


ステント留置前



ステント留置後

# ペースメーカー留置





# 胸腹骨盤部領域



腫瘍性病変とその栄養血管の検索や塞栓術が施行されています。

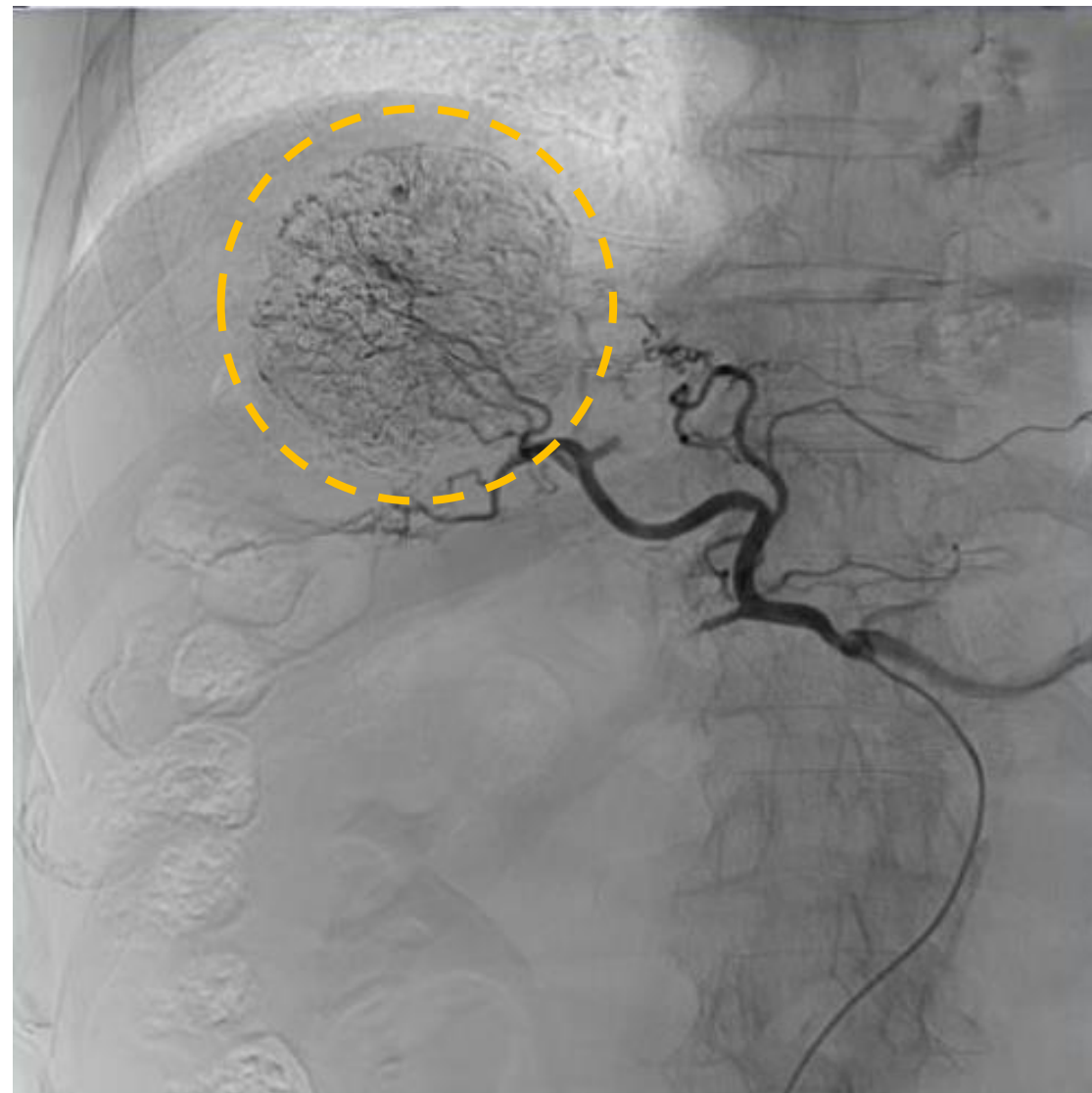
肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術（TACE）、子宮筋腫・子宮腺筋症に対する子宮動脈塞栓術（UAE）などが主に施行されています。



# 肝動脈化学塞栓術(TACE)

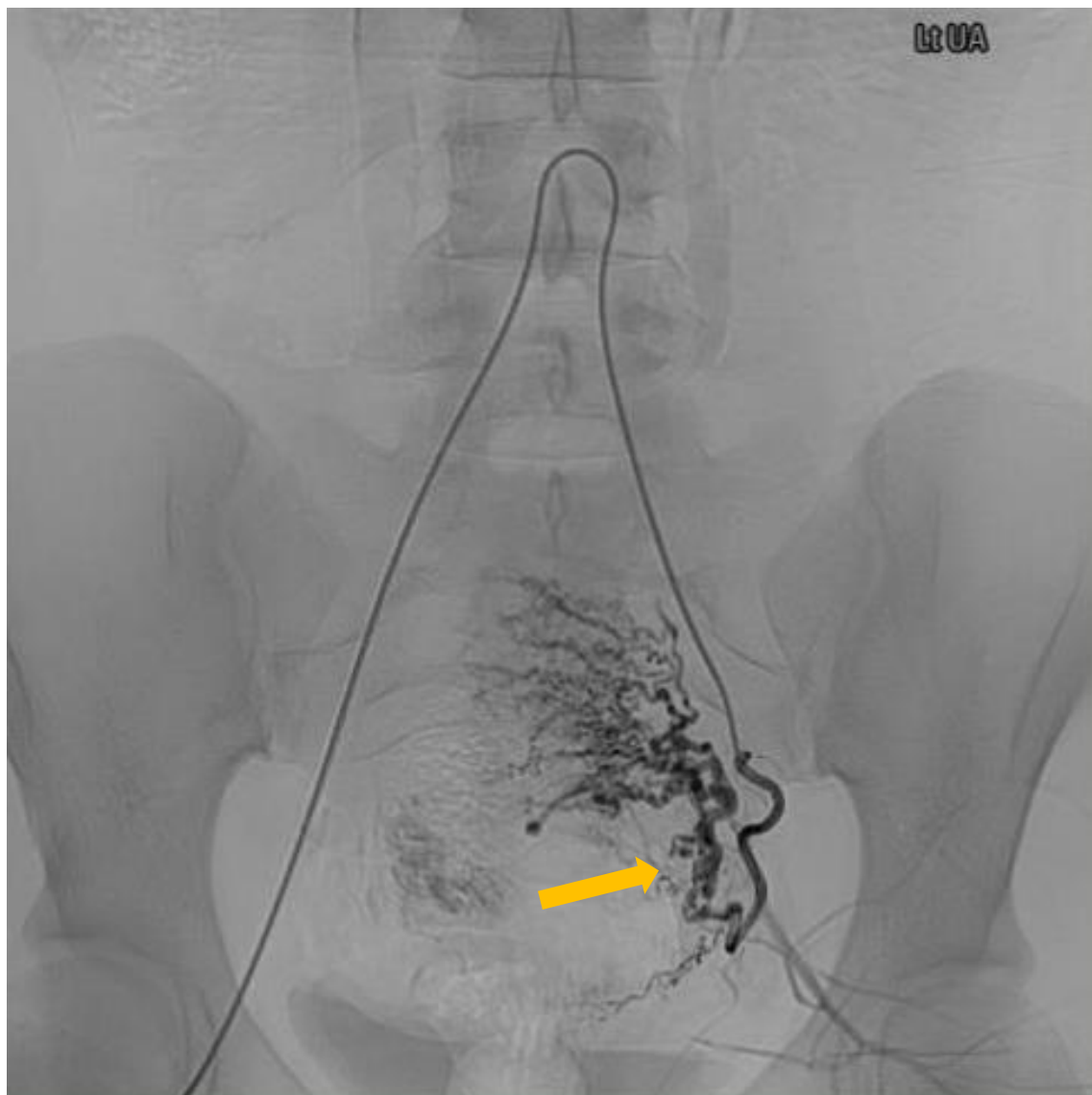


塞栓前



塞栓後

# 産科出血に対する子宮動脈塞栓術(UAE)



塞栓前



塞栓後

# 全身・救急領域

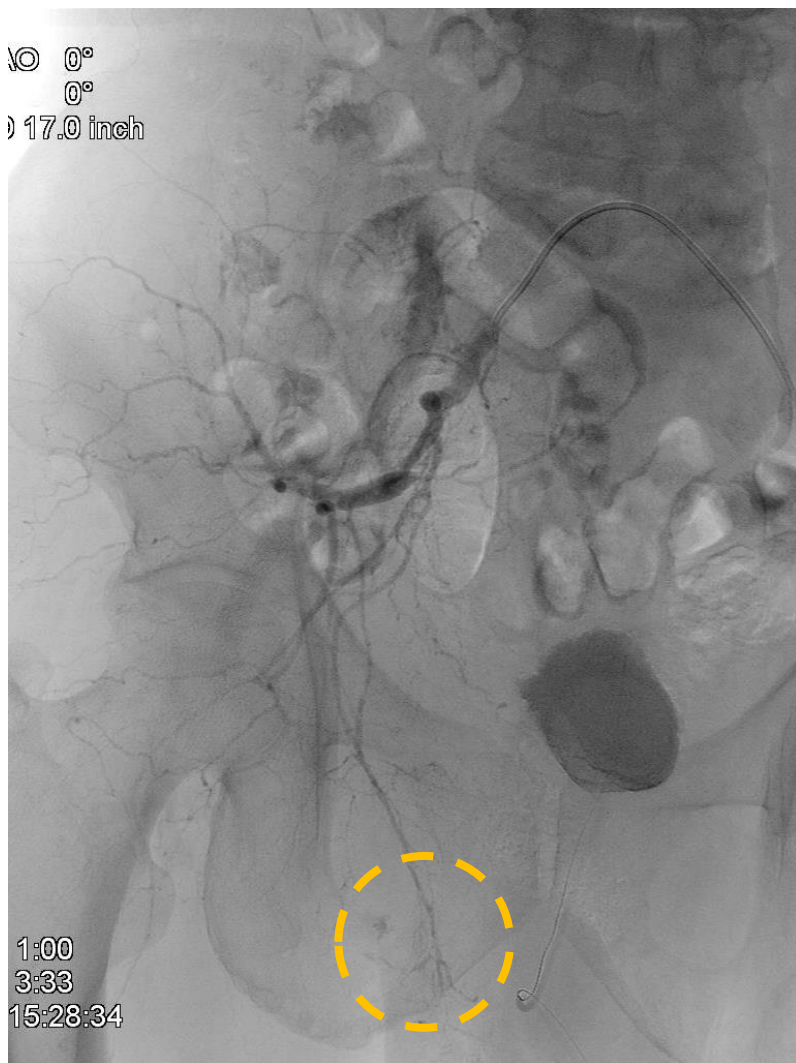


当院は三次救急指定病院であるため、外傷などによる血管損傷に対する血管塞栓術が施行されています。また、透析患者のシャントPTA（経皮的血管形成術）なども施行されています。





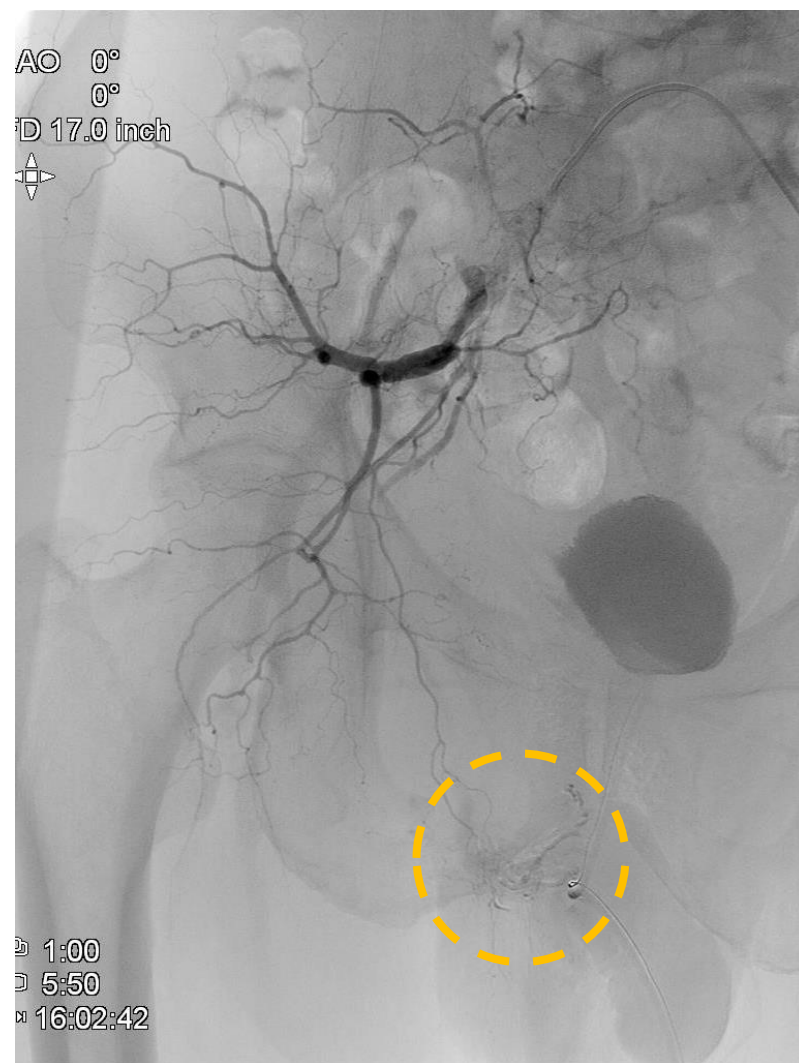
# 骨盤骨折に対する径カテーテル動脈塞栓術(TAE)



塞栓前



塞栓前



塞栓後